

## 現職隊員への感謝状贈呈

令和4年3月8日

令和4年3月3日（金）、兵庫県隊友会 会長 小川祥一氏から、青野原駐屯地 元曹友会長 空中幸生曹長へ、隊友会会員と現職隊員の交流を活性化する等、隊友会活動に大きな貢献を果たしたとして感謝状が贈呈されました。

これは、隊友会東播支部が兵庫県隊友会に感謝状贈呈の上申を行ったもので、空中幸生曹長は曹友会長上番時期に隊友会東播支部が毎年行っているサツマイモ収穫祭にて、隊員家族の参加者は30名程度であったところ、いきなり約100名の参加者を募り、隊友会と現職隊員・家族との交流の盛り上げに大きな貢献を果たされました。また、このことは隊友会の活動を現職隊員のほか、そのご家族にも周知するきっかけとなり、その流れは現在も継承されています。このほか空中曹長は駐屯地陶芸部に所属し、駐屯地記念行事の記念品作成や中部方面総監部等から依頼される陶芸作成も手がけており、その活躍は駐屯地内外に知られるところです。

贈呈式は、第8高射特科群長兼青野原駐屯地司令室において、久守直紀群長兼駐屯地司令及び兵庫県隊友会 事務局長 小林一吉氏のほか、東播支部 支部長 石田真一氏も同席をして執り行われ、3月29日の退官を目前にして感慨深い行事となりました。贈呈式終了後には、兵庫県隊友会 会長 小川祥一氏による駐屯地司令表敬を行い、急遽、空中曹長にも同席していただき、会長より隊友会の紹介やPRを含め活動報告等、終始なごやかに懇談をして終了されました。

県事務局長からは、「隊友会と現職隊員との目に見える連携の場として、感謝状贈呈は非常に有効であることから、該当する隊員がいれば各支部から積極的に上申していただき贈呈につなげていきたい。」との発言もあり、兵庫県隊友会として新たな幕開けとなる予感を感じさせてくれる行事となりました。

兵庫県隊友会東播支部 事務局



駐屯地司令 小川県会長 空中曹長 県小林事務局長 石田支部長

